

トロテック・レーザー、包括的なレーザー生産システム「**Speedy Black Line**」を発表

オーストリア・マルヒトレンク、2026年9月8日

Speedy Black Lineは、統合ソフトウェア、自動化、生産システムとの接続性により、レーザー加工とデジタル生産ワークフローをつなぎます。

トロテック・レーザーは、ジョブ準備、レーザー加工、生産管理を連携するよう設計された、ワークフロー主導型のレーザー生産プラットフォーム「Speedy Black Line」を発表します。Speedy 480 Black LineとSpeedy 360 Black Lineとして提供されるこのプラットフォームは、レーザーハードウェア、Ruby®ソフトウェア、自動化機能、ワークフロー統合を、連携された生産環境に集約します。

Speedy 480 Black LineとSpeedy 360 Black Lineとして提供されるこのプラットフォームは、レーザーハードウェア、Ruby®ソフトウェア、自動化機能、材料に関する専門知識、グローバルなサービスおよびサポートを、1つの連携された生産環境に統合します。

パーソナライゼーション、印刷・看板、教育、工業生産など、さまざまな業界で生産要件が高まる中、企業は機械速度だけではなく、生産プロセス全体に目を向けています。求められているのは、効率的なプロセス、予測可能な結果、そして手作業を減らしながらより多くの生産を可能にする拡張性の高いソリューションです。

「レーザーの生産性は、実際のレーザー加工の前後にある工程にますます左右されるようになっていきます。Speedy Black Lineは、ジョブ準備、位置決め、生産を1つのワークフロー指向型プラットフォームでつなぐために開発されました」と、Trotec LaserのProduct Marketing ManagerであるPetra Bergerは述べています。

生産効率を追求した設計

Speedy Black Lineは、受注から完成品まで、生産プロセス全体を通してユーザーを支援します。ソフトウェア、自動化、レーザー加工を1つのシステムに統合することで、ジョブ準備の迅速化、手作業の削減、生産全体の可視性向上を実現します。

Speedy Black Lineは、ハードウェア性能だけに焦点を当てるのではなく、産業用レーザー装置、Ruby®ソフトウェア、自動化対応テクノロジー、検証済み材料、グローバルなサポートとサービスを組み合わせた包括的なソリューションとして設計されています。

- この統合型アプローチにより、企業は次のことが可能になります。
- ジョブ準備とレーザー生産ワークフローの連携
- 手作業によるデータ処理と加工工程の削減
- 生産プロセス全体の可視性向上
- さまざまな用途における再現性の高い生産
- ソフトウェア、自動化、サポートを1つの生産環境に統合

止めないための主要テクノロジー

複数の主要テクノロジーが、機械の実稼働時間の最大化に貢献します。Quick Change Table Systemにより、材料や用途をすばやく切り替えることができます。また、OptiFlow集塵脱臭技術により、加工エリア全体で安定した彫刻・カット品質を実現します。

高精度な位置決めのために、Vision Design&Positionは加工開始前に材料上でライブプレビューを表示します。Vision Print&Cutは、看板、ディスプレイ、ラベル、販促品などの用途で、印刷されたグラフィックの正確な位置合わせを実現します。

Speedy Black Lineは、APIおよびNode-REDを介して、接続された生産環境への統合にも対応します。接続された生産環境では、レーザー生産とERP、MES、オンラインショップ、受注管理プラットフォームなどの周辺業務システムとの間で受注情報を交換できます。これにより、生産プロセス全体で同じデータを繰り返し入力する作業を削減できます。

長期的な性能を支える設計

Speedy Black Lineは、長期的な生産性を実現するために設計されています。InPackテクノロジーは重要な機械部品を汚染から保護し、プロテクションプラン（保守プラン）は予防保全、優先サポート、専門家による支援を提供して、システム稼働率の最大化に貢献します。トレーニングとアプリケーションサポートも組み合わせることで、システムのライフサイクル全体にわたって価値を提供する包括的なエコシステムを利用できます。

2つのモデルをラインアップ

- Speedy 480 Black Line : 加工エリア 1,248 × 624 mm (49 × 24.5インチ)
- Speedy 360 Black Line : 加工エリア 936 × 624 mm (37 × 24.5インチ)
- CO₂、ファイバーレーザー、Flexx構成を用意
- レーザー出力 : 最大120 W CO₂、最大50 W ファイバーレーザー
- 最大加工速度 : 最大4.32 m/s
- APIおよびNode-RED接続に対応するRuby®ソフトウェア
- Vision Design&PositionおよびVision Print-to-Cutワークフローを用意
- 2026年9月8日より世界各国で提供開始

Speedy Black Lineは、パーソナライゼーション、教育、印刷・看板、工業生産の用途向けに設計されており、より効率的で拡張性と信頼性に優れた生産プロセスの構築を支援します。

詳細情報 : <https://www.troteclaser.com/en/laser-machines/laser-engravers-speedy-series>

Images

Preview of printable image material:

	Trotec Laser GmbHロゴ (出典 : Trotec)
	Speedy Black Line (出典 : Trotec)



Trotec Laser GmbH Product Marketing
Manager、Petra Berger（出典：
Trotec）